

このたびは、本商品をご採用いただき、誠にありがとうございます。

- 本説明書は、「メッシュフェンスⅢ」の組み立て、施工について説明しています。
- 本説明書は専門知識を有する業者様向けの内容となっております。誤った方法で作業を行うと、不具合につながるおそれがあります。作業には危険が伴いますので、専門知識を有する業者様が行ってください。
- 本説明書は、必ず組み立て、施工される方にお渡しください。

本書内の表記

- 商品の組み立て、施工をしていただくうえで、人身事故や物的損害を未然に防止するため、守っていただきたいこととして、下記のような警告表記をしています。内容をよくご理解のうえ、商品の組み立て、施工を行ってください。

警告／注意／お願い

表記	意味
警告	製品の取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される
注意	製品の取り扱いを誤った場合、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害が生じることが想定される
お願い	製品の取り扱いを誤った場合、人身への危害と財産への損害には至らないが、製品自体の損傷や不具合が生じると思われる場合や、操作・使用・お手入れ方法などの注意喚起情報

その他の表記

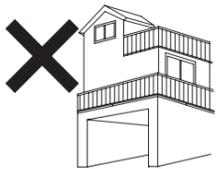
表記	意味	表記	意味
改訂	商品や作業の変更点	シーリング	必ずシーリングをする箇所
チェック	作業するうえで必要な情報	電動ドライバー禁止	電動ドライバーの使用禁止
お願い	知っておくと便利な情報	電気工事	電気工事士の資格が必要な作業

- 一部を除き、本書内の単位は「mm」で表示しています。

安全にお取り扱いいただくために

警告

- 本商品は、敷地境界・隣地境界を目的とした一般住宅地外構用です。防護柵や手すりの機能はありません。高低差のある境界やベランダ、廊下、屋上など転落などの重大事故が起きるおそれのある場所には、使用しないでください。



注意

- 組み立ては、所定のねじを使用し、最後まで締め付けてください。締め付け不良は、事故の原因となります。
- 柱の埋め込み部分先端には、柱内部へのモルタル侵入防止のために小口キャップが取り付けられています。施工時は必ずささないでください。ブロック穴にあらかじめモルタルを入れ小口キャップ無しの柱を差し込む施工をした場合、侵入したモルタルによって柱が腐食膨張するおそれがあり、ブロック割れの原因となります。
- 柱の埋め込み部分の柱内部には、凍結破壊防止のため発泡スチロールが挿入されています。施工時、抜き取らないでください。冬期柱内に侵入した水が凍結した場合、発泡スチロール無しの柱は膨張しブロック割れの原因となります。
- 端部、連結部からの柱位置は20～150mmの範囲で施工してください。(連結部には柱は立てられません。)
- 柱はフェンス本体1枚に最低1本必要です。
- コーナー端部からの柱位置は80～150mmの範囲でそれぞれのフェンスに各1本施工してください。
- 単体(1枚)で施工する場合は端部からの柱位置を80mmにしてください。
- 基礎コンクリート(モルタル)には、腐食性の強い塩素系混和剤(急結剤など)や強アルカリ系硬化促進剤、海砂などは使用しないでください。柱の腐食が促進され破壊事故につながるおそれがあります。
- 柱のレベル調整は、コンクリート・モルタルが固まる前に行ってください。固まった後の調整は、柱の強度が著しく低下するおそれがあります。
- 本説明書に記載以外の組み立て、加工など、改造を行わないでください。性能に影響を及ぼし、思わぬ事故につながるおそれがあります。



- 作業を行う際は、作業に適した服装で、保護具(保護帽、安全带、眼・耳・手・足の保護具)を着用し、安全に作業を行ってください。
- 作業場所の整理整頓を行うとともに、安全確保を行ってください。

同梱一覧

フェンス本体

姿 図	—
品 名	フェンス本体
EFI-(DS)-A1F-20##	1

アルミ自由柱

姿 図	—				
品 名	アルミ自由柱	フックボルト(M5)	フランジ付ナット(M5)	接続金具	
品 番	—	3K-18985	3K-11829	6K-18605	
EFI-(DS)-PF7-##	H600~H1000	1	2	2	3
	H1200	1	2	2	4

姿 図			—	
品 名	中トラスピンねじ(φ4×12)	警告ラベル	組立・施工説明書	
品 番	EM-4012D8	2K-42631	—	
EFI-(DS)-PF7-##	H600~H1000	3	1	1
	H1200	4	—	—

コーナー金具

姿 図			
品 名	コーナー継手	押入金具	トラス小ねじ(φ5×8)
EFI-(DS)-B1-2-XA	2	4	4

オプション 補修ペイント

姿 図	—
品 名	補修ペイント
EFI-(DS)-K9	1

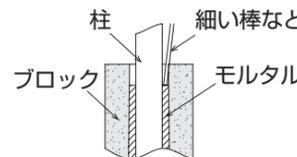
オプション 端部キャップ

姿 図			
品 名	端部キャップ(小) 線材φ3.6用	端部キャップ(大) 線材φ4.5用	
EFI-(DS)-K10-15	H600~H1000	15	—
EFI-(DS)-K12-20	H1200	14	6

柱の施工

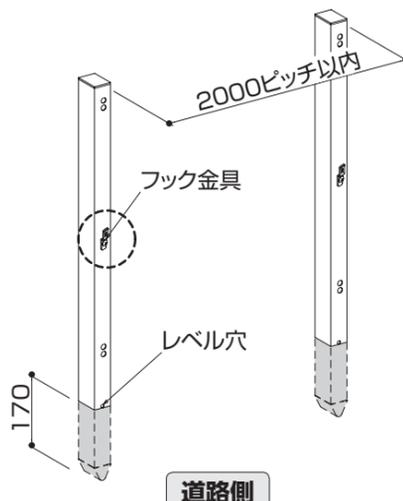
注意

- 凍結破壊防止のため、水抜き穴は、モルタルなどで塞がないでください。柱内に浸入した水が凍結して膨張した場合、ブロックが割れたり、柱が破損したりするおそれがあります。
- 細い棒などで突き固めながらモルタルを充てんしてください。モルタルが強固になっていない場合、強度低下の原因となります。

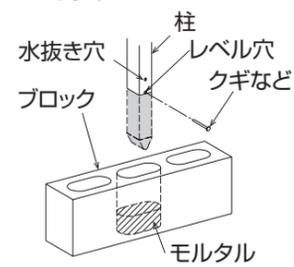


- 柱のレベルを揃えてください。フェンス本体が正しく連結できません。

- 1 柱の高さを合わせるために、レベル穴にクギなどを差ししてください。
- 2 柱を2000mmピッチ以内で設置してください。(—4—「寸法図」参照)



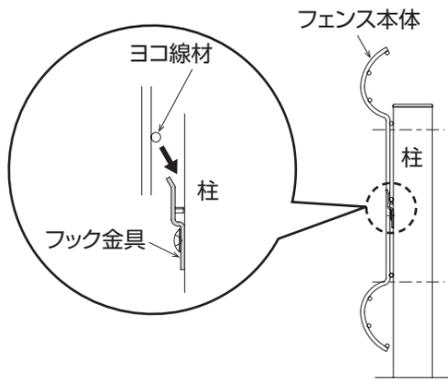
- フック金具を道路側にしてください。
- ブロック穴にあらかじめモルタルを入れ、柱を差し込むと施工が容易です。



- 3 柱の間隔、水平、垂直、出入りを確認のうえ、モルタルで固定してください。

フェンス本体の取り付け

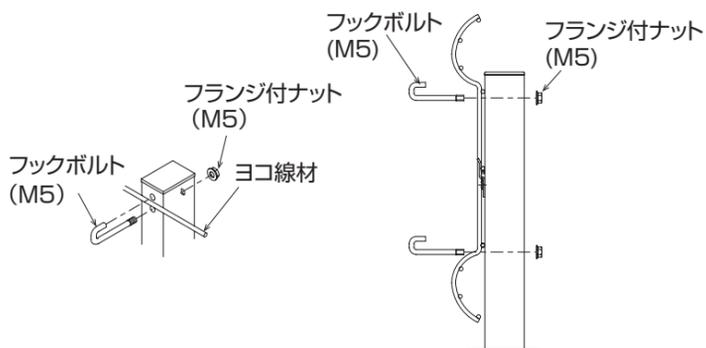
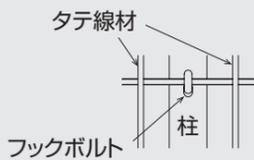
1 ヨコ線材を柱フック金具に引っ掛け、仮固定してください。



2 フックボルトでヨコ線材を固定してください。



• フックボルトは、タテ線材部を避けて固定してください。
タテ線材部には取り付けできません。



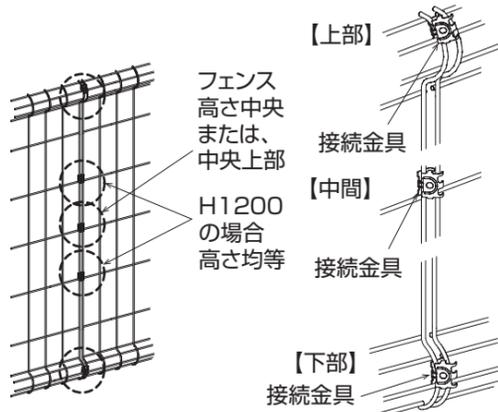
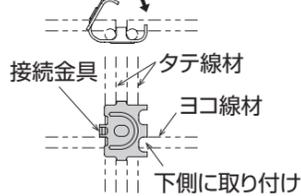
フェンス本体の連結

直線連結部

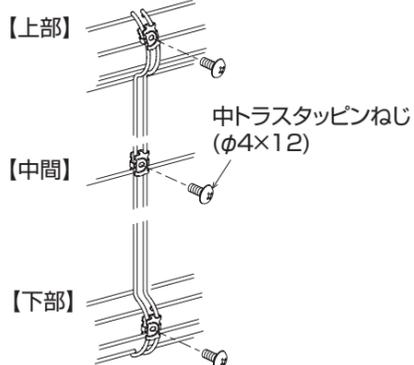
1 接続金具でタテ・ヨコ線材をはさみ込んでください。
(接続金具はクリップのようになっています。)



• 接続金具は、下図の方向、位置になるように取り付けてください。

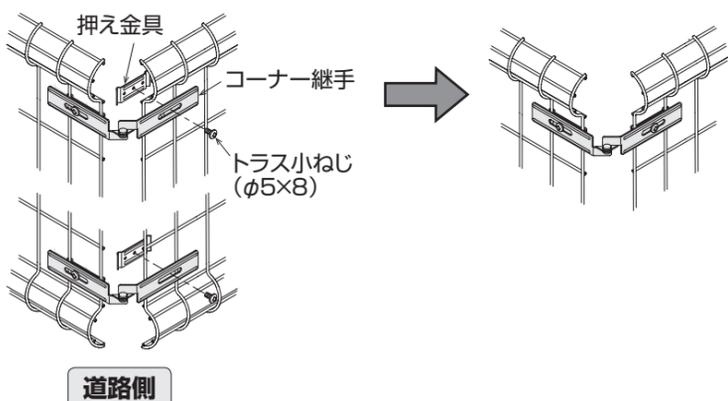


2 接続金具をしっかりと閉じ、ねじで固定してください。



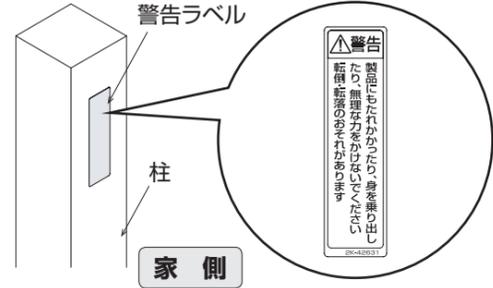
コーナー連結部

1 コーナー継手と押え金具でフェンスをはさみ、固定してください。



警告ラベルの貼り付け

1 警告ラベルを家側の目立つ位置に貼り付けてください。



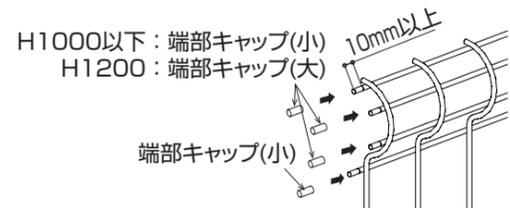
フェンスの切り詰め方法



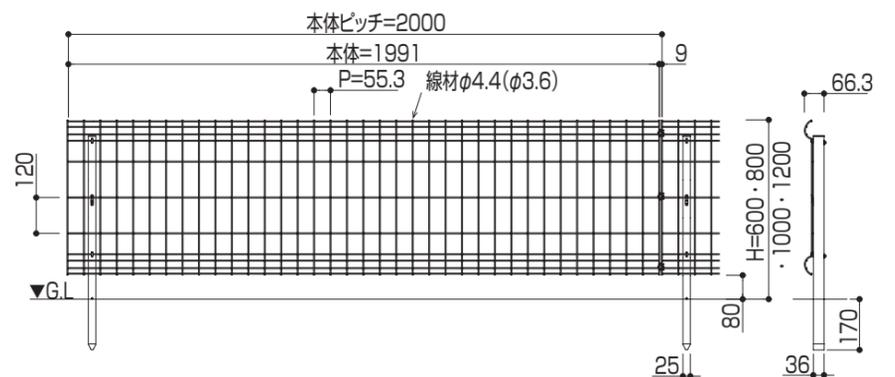
• H1200用の場合、端部キャップには大小があります。



- 1 端部キャップの装着のため、長さを10mm以上残し切断してください。
- 2 切り詰めたフェンス本体を端部またはコーナー部側に使用してください。
- 3 切断部に端部キャップ(オプション)を取り付けてください。



寸法図



線材の寸法は塗装処理後の外径寸法です。()内は芯径を表します。

